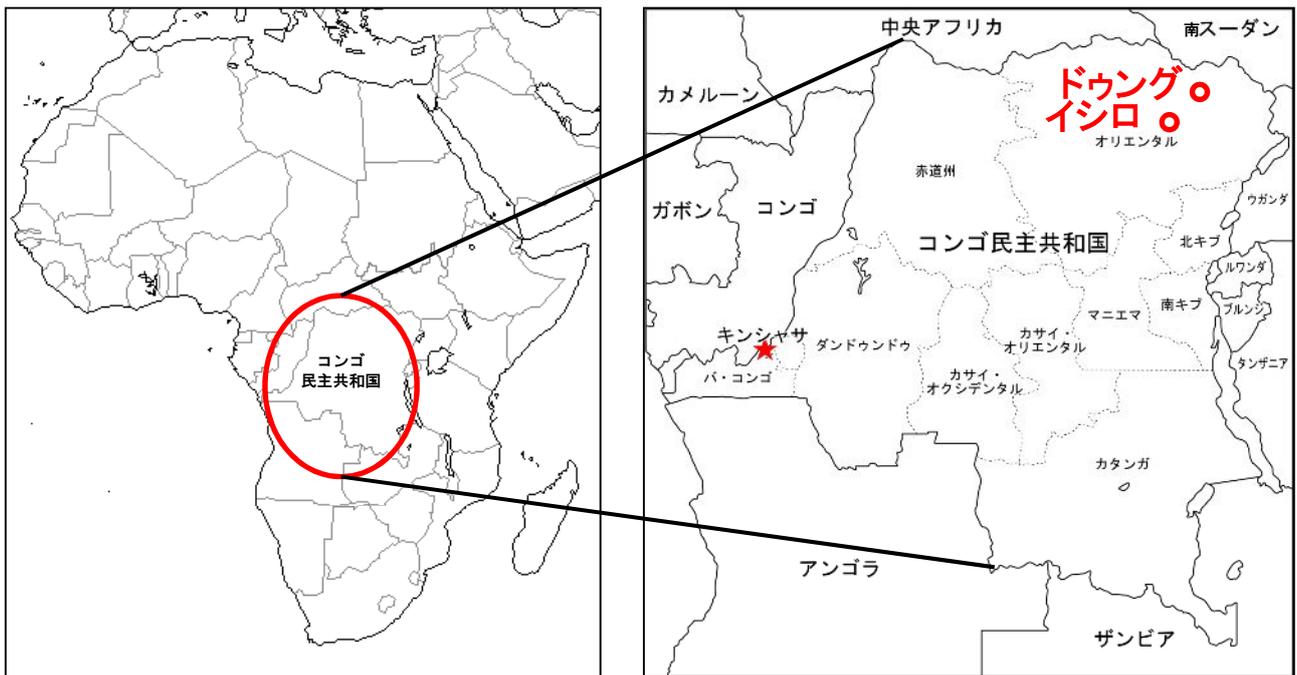


コンゴ民主共和国東部で エボラ出血熱が発生しています

WHOの情報によると、コンゴ民主共和国東部のイシロ(Isiro)とドゥング(Dungu)でエボラ出血熱が発生し、10人の疑い例と6人の死亡が確認されています(2012年8月17日現在)。



- エボラ出血熱は、ウイルスに感染した動物やヒトに接触することにより感染し、死亡するリスクの高い(25～90%)恐ろしい病気です。
- 潜伏期間は、2～21日(通常は7日程度)で突然の発熱、疲労感、筋肉痛、頭痛、咽頭(のど)痛で発症します。それに引き続き、嘔吐、下痢、腎機能や肝機能の低下がみられ、進行すると全身に出血傾向がみられ死亡します。

この病気に対する確立された治療法やワクチンは今のところありません。流行地域に近づかないことが重要です。

感染した人の血液や体液、これらに汚染された可能性のあるもの、動物(死体を含む)に触らないでください。

